

ている。

ひとまず、キャッシュフローの改善や、円滑な移行手続きの方法の書面を 12 月 9 日（金）までに提出するとともに、調理員に会って話をし、誠実に対応して現場調理員から承諾を得て、12 月 9 日までにこちらへ連絡すること」

を求めた。

同月 9 日（金）

・双葉から市教委に何も連絡がなかった。

教育総務課高岡課長補佐が上野口小へ行き、調理員から「会社側から書面提出について説明を受けたかどうか」の現状の聞き取りを行う。

同月 12 日（月）

・教育総務課西岡課長から双葉給食担当部長へ連絡。

「先週の話はどうなっているか」確認したところ、「まだ何も対応できていない」との返答。

・こうした誠意が見られない対応に、

今まで給料が遅れても「子どもたちのために」と情熱をもって一生懸命調理を続けてくれた調理員のことを思うと、給食に携わってきた教育委員会事務局職員全員が強い憤りを感じ、

学校教育部満永部長・同部山口次長・教育総務課西岡課長判断のもと、連帯保証会社に業務履行してもらうことを決意。

・「市教委としてはこれ以上対応を引き伸ばせない」と伝える。

同月 15 日（木）

・双葉給食より業務をナフスに移行する判断をしたとのこと。

同月 21 日（水）

・合意書を作成の上、市長決裁を得た。



Q13：双葉給食の呆れ返る対応が続いて、12 月半ばになってようやく業者交代が決まったわけですが、上野口小の給食業務はその後、どうなりましたか？
またこの悪質業者＝双葉給食はどうなりましたか？

教委 A13：2017 年（平成 29 年）1 月 11 日からナフスによる給食調理業務が開始されました。

また、同年 3 月 27 日付けで双葉給食㈱が大阪地方裁判所より破産手続の開始決定を受けた、と聞き及んでおります。

Q14：「学校給食委託業者による賃金未払い」という、門真市始まって以来の犯罪不祥事が発覚したのが、宮本市長体制開始間もない 2016 年の 9 月末。

議員はほとんど毎日市役所に来ているし、10 月には決算委員会があり、この問題が頂点に達した 12 月には 12 月議会が開かれて、様々な審議をしている。

しかし市教委は、この前代未聞の業者犯罪不祥事について、学校給食所管の文教こども委の議員にも、どの議員にも全く情報を隠ぺいし続けた。

それは 2017 年の 3 月議会・6 月議会・9 月議会・10 月の決算委員会、12 月議会、そして 2018 年 3 月議会を経ても、ずーっと議員に対して隠ぺいし続けてきた。

たまたま私が 3 月末に、ある市民から情報を得て、4 月に教委に問い合わせた所、ようやく事実を私に伝えたわけで、

事件発覚以降、実に 1 年 7 ヶ月も隠ぺいし続けてきた！

今 6 月議会文教こども委の所管事項質問の答弁で、発覚以来 1 年 8 ヶ月超経って、ようやく議会で事実公表がされる事になるが、

これは「一議員の質問に対する答弁」であって、「議会に対する報告」ではない。

この事件は、本来は「理事者報告」として全議員に対して文書で報告されるべき案件である。

それを踏まえて聞くが、本件について、本来なら「事件発覚直後に議会に報告すべきもの」なのに、それをしないで来た理由と経緯を述べよ。

教委 A14：本件については、

児童のために学校給食を欠かすことなく提供することを念頭に、

現場調理員への聞き取りや状況説明のほか、法務監察課、顧問弁護士との調整を何度となく行い、